

平成 27 年 10 月 16 日

一般社団法人 高齢者住宅推進機構
代表理事 和田 勇 様

東京大学高齢社会総合研究機構
特任教授
辻 哲夫

日ごろ大変お世話になっております。

東京大学高齢社会総合研究機構（IOG）では、下記の内容で、高齢社会におけるサービスの国際標準化に関して、ワークショップを開催致します。つきましては、詳しくは開催案内（添付資料）をお送り致しますので、何卒よろしく会員の皆様にご案内頂き、参加を賜れば幸甚でございます。

ご多忙の折、甚だ恐縮ですが何卒よろしくお願い申し上げます。

記

「高齢社会の課題と国際標準化の意義」

主催：東京大学高齢社会総合研究機構
後援：経済産業省、厚生労働省（予定）

日時：2015 年 10 月 30 日（金） 14:00—17:00
場所：東京大学 本郷キャンパス福武ホール

趣旨：

今回、日本と英国が主導して国際標準化をめざし、高齢社会における健康とケアのサービスのあり方について、その指針（IWA というドキュメント）をまとめております。 今後は、この指針をもとに、地域健康・ケア計画、健康・介護プロジェクト、さまざまな健康・ケアサービスや製品の国際標準が策定されることとなります。 この機会に、高齢化社会に対応する健康サービスとケアサービスの国際標準化活動を推進していくため、高齢社会の課題と国際標準化の意義について、産官学の識者の方々にお集まりいただき、国内審議団体の関係者を増やすのを目的としてワークショップを開催致します。

以上

ワークショップ 高齢社会の課題と国際標準化の意義

主催 東京大学高齢社会総合研究機構(IOG)
後援 経済産業省、厚生労働省

経済発展にともなう社会の高齢化は、人類の共通の課題です。日本はすでに超高齢化社会(高齢化率21%以上)に突入し、課題先進国として世界をリードする立場にあります。

今回、日本と英国が主導して国際標準化をめざし、高齢社会における健康とケアのサービスのあり方について、その指針(IWAというドキュメント)をまとめています。今後は、この指針をもとに、地域健康・ケア計画、健康・介護プロジェクト、さまざまな健康・ケアサービスや製品の国際標準が策定されることとなります。

この機会に、高齢化社会に対応する健康サービスとケアサービスの国際標準化活動を推進していくため、高齢社会の課題と国際標準化の意義について、産官学の識者の方々にお集まりいただきワークショップを開催致します。

【ワークショップ パネリスト】

- ・ 辻 哲夫 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
- ・ 秋山 弘子 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
- ・ 宮島 俊彦 厚生労働省元老健局長、
東京大学高齢社会総合研究機構客員研究員
- ・ 星野 岳穂 経済産業省 産業技術環境局審議官
- ・ 市川 芳明 日立製作所 国際標準化主管技師長
- ・ 安川 拓次 花王株式会社 エグゼクティブ・フェロー

日時: 2015年10月30日(金) 14:00 — 17:00

場所: 東京大学 本郷キャンパス 福武ホール

参加費無料



申し込み

東京大学高齢社会総合研究機構

E-mail: event@iog.u-tokyo.ac.jp

所属、氏名をご記入の上

お申し込みください。

尚、定員160名で締め切らせて頂き、

定員オーバーの場合のみ返信メール
でご連絡申し上げます。

締め切り:10月27日(火)

都営大江戸線 本郷三丁目駅 徒歩7分

東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅 徒歩8分

東京メトロ千代田線 湯島駅 徒歩20分

東京メトロ南北線 東大前駅 徒歩10分